

2016年 2月号
通巻 166号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16

電話019-651-0810

FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



1日に開館した「科学技術殿堂」

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

2016年 新春講演会、新年会 開催

■1月6日、2016年度「盛岡支部新春講演会・新年会」が開催された。

講演会ではまず、ビデオ「10月を輝かせた祖国」が上映され、めざましく躍進する祖国の姿を映像で鑑賞した。本部の崔委員長が昨年9月に訪問した祖国の現状を「セポ地区畜産基地」と岩手同胞が送った「愛国牛」を紹介しながら講演した。新年会では支部委員長が結成60周年を記念した昨年、同胞の協力に謝意を表し今年も力を合わせて支部の活動を活性化しようと挨拶した。

■「県南支部新春講演会・新年会」は1月15日に行われた。ビデオ上映のあと「強盛国家建設の全盛期を迎えた祖国と今年の運動」と題し崔本部委員長が講演した。

新年会で姜委員長のあと車鴻顧問が乾杯の音頭を取り、各機関代表の挨拶、参加した子供たちに支部から恒例の「お年玉」がプレゼントされた。

■1月26日、「北東北青商会新年会」が盛岡市内で行われた。昨年11月の第3回総会で選出された役員のもとでの初の行事となった新年会は岩手、秋田、青森のメンバーと宮城の役員、朝青のメンバーも参加した。今年も活動を力強く展開していこうと気持ちを一つにする有意義な場となった。



時事コラム - 水爆実験の意図 -

日本のマスコミは、朝鮮初の水爆実験を事実を照らして検証するのではなく、ひたすらセンセーショナルに伝えることに徹した。実験の意図について根拠希薄な推測をめぐらした挙句、「北朝鮮の行動は予測不能」と一方的に否定的なレッテルを張り、悪評を流した。▽テレビも、新聞も、朝鮮が事実上の戦争状態に置かれていることに触れなかった。朝鮮が対峙する交戦相手の米国が世界で初めて水爆実験を行った最大の核保有国であること、米軍と南朝鮮軍が朝鮮への核攻撃を想定した合同軍事演習を続けていることに注目する論調は排除された。▽昨年1月の時点で朝鮮は、合同軍事演習を臨時中止するならば、核実験を臨時中止できるとの立場を米国に伝えていた。しかし、米国は演習を強行し、朝鮮半島に一触即発の戦争危機を作り出した。有名無実化した停戦協定に替えて平和協定を締結するべきとの朝鮮の提案も無視した。▽朝鮮の水爆実験を引き起こしたのは米国だ。「核なき世界」の空虚なスローガンで世界を騙し、強硬策一辺倒で朝鮮半島の軍事情勢を悪化させたオバマ政権の責任こそ追及されなければならない。▽朝鮮の意図は6日に発表された政府声明に記されている。「水爆実験は自衛的措置」、「米国の朝鮮敵視が根絶されない限り、核開発中断も、核放棄もあり得ない」—朝鮮の主張は明確だ。その背景となる歴史的事実と軍事的対立を見据えない限り、事態の本質を伝えることはできない。（「朝鮮新報」春夏秋冬より転載）

いもじょも掲示板!

『県南地域確定申告サポート』

日時:2月13日(土)10:00~17:00
会場:北上市生涯学習センター
主催:総聯県南支部・商工会共催

■2016年「朝・日新春交流会」

日時:2月17日(水)17:00~
会場:エスポワール盛岡
・講演会 17:00~
・交流会 18:00~
会費:4,000円
締切:2月8日(月)担当-姜

■東日本大震災5周年同胞追悼式

日時:3月13日(日)11:00~
会場:東北朝鮮初中級学校 講堂

■「ウリウネの日」

日時:3月23日(水) 11時~
※詳しくはウリ信からの案内をご覧ください。

女子サッカーリオ五輪最終予選に出場する朝鮮代表を応援しよう!

リオ五輪の出場を賭けた女子サッカーアジア最終予選(2月29日~3月2日、開催地-大阪)に朝鮮女子代表チームが出場する。

最終予選には6ヶ国が出場し総当たりで対戦し上位2か国が五輪切符を手にする。

10日間で5試合と過酷な戦いになるが、昨年7月の東アジア選手権で優勝した朝鮮代表の五輪出場が期待される。

試合日程は次の通り。

2月29日 VS 南朝鮮

3月2日 VS 中国

3月4日 VS ベトナム

3月7日 VS オーストラリア

3月9日 VS 日本(19:30NHK総合で放映)

テレビ放映等の予定は未定だが日本戦はNHK総合19:30~放送されるとのこと。

五輪出場のかかった大事な大会が日本で開催されるので同胞のみなさん、気持ちを込めて応援しましょう!

イギョラ! 조선!

ドクターカンの健康講座

第155回 『冬こそ運動を』

「細動」という字のように心臓の上部の心房が細かく動く状態です。

1分間に400~600回の速さで細かく震えるように動きますがしっかり収縮していないため、心房の血液を心室に送り込めず心房内に血液がよどみます。血液はよどむと固まりやすくなる性質があるため血栓ができやすくなります。この血栓が脳の血管に詰まると脳梗塞を引き起こします。

では心房細動の症状はどのようなのでしょうか。脈が乱れる、どつき、めまいなどですが症状がない人や気がつかない人も多いためやっかいです。

心室細動はすぐ突然死に至るため胸骨圧迫やAED(自動体外式除細動器)で心肺蘇生をしなければなりません。心房細動には突然死はありません。しかし気がつかず頻脈が長期になれば心室の収縮力も低下し心筋症になり、そして心臓の働きが弱くなり心不全となります。そして心室細動を引き起こ

すリスクも高くなります。

特に高血圧、糖尿病、高齢の人の心房細動は脳梗塞へのリスクがより高くなります。早期発見、早期治療が大事です。急に拍動が速くなったり乱れたり変な症状に気付いたら循環器内科をすぐ受診して下さい。心房細動でなかったらラッキーです。診断には心電図や24時間ホルター心電図が有効ですが、より簡単で有効なのが毎日、朝の安静時に「脈をとる」ことをすすめます。1分間に60~100回が正常ですが脈が速かったり乱れたら要注意です。薬以外の新しい治療法も開発されており早期にしっかり治すことも可能となりました。

まだまだ寒くなりそうですが部屋で少し体操をして歩きませんか。

健康な1年でありますように。



(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)